

将門沼に幻の生物「マッシー」が出現!

マッシーがたくさんの人々によってもとの環境を取り戻し、元気になっていくようすから「市民協働」を学んでみましょう。



将門沼に現れたマッシーにみんなびっくり!
しかし、あまり元気がありません。
とても心配です。

市民・地域コミュニティ

- 沼周辺のゴミ拾い
- 当番制での見回り活動
- ポスター、看板の作成などを中心に行いました。

市役所

- 沼の水質調査と水質改善
- ゴミの処理
- 水位の確保などを中心に行いました。

左の図を見てみましょう。「マッシーを元気にしよう」という目標に向かって、たくさんの方が取り組んでいます。たくさんの方がつながり、関わりあい、それぞれの力を生かしながら課題の解決や目的の達成にむかって取り組む、これこそが「市民協働」なのです。



みんなでマッシーを助けよう!

NPO法人・事業者など

- マッシー基金の創設
- チャリティイベントの実施
- 募金活動などを中心に行いました。

市民団体

- 沼の葦焼き
- 沼周辺の草刈り
- 生態系の保護活動などを中心に行いました。

「マッシー保護委員会」が発足

委員会では地域の住民をはじめ市役所や事業者、環境団体や将門沼を良く知る人々などが参加し、「マッシーの保護」について話し合いました。

- その結果…
- 近年水が濁ってきた
 - 以前よりも沼の水位が下がってきた
 - 生物の種類が減った (友達がなくなった)
 - たくさんのゴミが捨てられている
 - マッシーの「えさ」がなくなってきている
 - 水辺の環境が変わってきた

…など、以前に比べて沼や周りの環境に多くの問題があることがわかりました。そこで、それぞれが持てる力を合わせ、協働で「何とかしてマッシーを助けよう」と立ち上がることになりました。

みんなのおかげで、マッシーは再び元気を取り戻すとともに、みんなと仲良く暮らしました。

